



国指定重要文化財 札幌市時計台

時計台の鐘

第 86 号

特定非営利活動法人

さっぽろ時計台の会

会長 谷 征 輝

札幌市中央区北1条西2丁目

時計台内

TEL 011-251-5944

時代の変化を見守り街角にたたずむ時計台

理事 佐藤正知

現在はインターネットの普及に続くAI、IoTの時代と言われ、デジタル化により日本の社会が変容を遂げつつある。ものクラウドがつながり、生産現場の制御・管理等の企業活動、これまでの対面式と共に仮想空間にアクセスする国境を越えた顧客をも対象とするビジネス、車の自動運転や医療や教育分野など暮らしにも変容は及ぶ。

人口減少社会の日本ではマーケットが徐々に縮小し、少子化が進む中で人生100年時代が迫る。2050年カーボンニュートラルの実現を国際社会に約束し、再生可能エネルギーを主とするエネルギー利用の大転換に向き合う。

大変な時代を迎える中で、将来に期待も持てる。今では中国は日本の経済規模の3倍に急成長した。東南アジア諸国も豊かになった。インドは5年程で中国の人口を追い越し発展を続ける。海外に新たな消費社会が出現し、これに因應する魅力的な品揃えが整えば旺盛な需要が待ち受ける。需要に因應する形で北海道の農業、漁業、製造業やサービス業の姿が変容を遂げればと期待される。

その一つはAI、IoTを活用した人手不足解消の取り組みであり、北海道の安全で上質な農産物・酪農製品・魚介類やこれらの加工品、工業製品の生産と海外販売の取り組みである。ビジネスや暮らしの脱炭素化の推進とともに、活力ある都市の風景や市民の暮らし、北国の四季と食文化、特長のある地域づくり、快適なリゾート地の姿を伝え続けることも必要である。人への長期の投資である教育研究推進とその環境整備は欠かせない。

140年を超えて時計台は、街の喧騒の中にたたずみ、今の時代の変化を静かに見守っているように思える。

(北海道大学名誉教授)



島口暉生さんの全国の西洋館めぐりのポストカードから

第40回 (令和3年)

時計台まつり記念行事

時計台創建143周年
記念式典・記念演奏会

10月15日(金) 時計台2階ホールにおいて、来賓の出席をいただき時計台創建記念式典を実施しました。18時の時計台の鐘を合図に開会、前川理事より活動に対するお礼の挨拶の後、来賓を代表して、札幌市市民文化局文化部長有塚広之様より、お祝いと活動に対して激励の言葉をいただきました。

なお、例年実施しておりました児童絵画展表彰式は、絵画展取りやめにより中止となりました。式典に引き続き「ひろくるW



ith久保達夫」のバリトン今野博之とピアノ今野くるみの夫婦ユニット、アコーディオン久保達夫によるクラシックからポップスまで幅広いジャンルの演奏会を行いました。

北海道信用金庫ひまわり財団の
助成事業に三年連続選定される。

令和4年1月14日、一昨年、昨年度に引き続き、一般財団法人北海道信用金庫ひまわり財団の令和3年度地域の社会福祉法人並びに社会福祉に係る団体・個人に対する助成金の交付団体に3年連続選定され、助成金をいただきました。

北海道信用金庫東札幌支店長佐々木靖様が来館され谷会長が目録を受け取りました。



文化財普及啓発事業パネル展の開催

コロナ感染防止対策下、時計台長期休館のなか当会普及活動の一環として、市友会との共催事業「時計台の鐘稼働140年記念、クラーク博士・札幌農学校開校145年記念」および「ホールレス・ケブロン元アメリカ農務長官来日150年記念、明治天皇北海道巡幸140年記念」のパネル展を其々8月10日から15日、8月29日から9月3日まで札幌地下街オーロラコナーで実施しました。



札幌市時計台来館促進観光事業

— 感動・再発見札幌時計台おもてなしフェア

昨年に引き続き、令和4年1月7日から

2月13日の期間で札幌市観光需要回復支援事業の一環の、札幌市時計台来館促進観光事業「感動・再発見札幌時計台おもてなしフェア」をSNSフォトキャンペーン、時計台ライブ2022×SAPPORO CITY YJAZZ・オトキタ、時計台ルミネリエ、氷雪像、フォトコンテストを実施しました。

① SNSフォトキャンペーンでは来館者の参加による抽選で時計台オリジナルのグッズをプレゼントしました。

② ライブは抽選によるサッポロシティジャズ・オトキタによる5日間、8ステージと一般のお客様向けにBLUE MOON STRINGSによる四重奏を3日間実施しました。

③ 時計台ルミネリエは時計台ムービングライトアップショーを実施しました。

④ 氷像レリーフは東川氷土会による札幌市時計台の模型を製作展示しました。

⑤ フォトコンテストは「わたしのだいすきな札幌時計台」をテーマに写真を募集、入賞作品を時計台ホールに展示しました。

コロナ禍の影響のなか、厳しい状況でしたが、広く認知されさっぽろ時計台の新たな魅力を発信できました。

フォトコンテスト最優秀賞



あんころもち
「ふと見た娘が神々しかった。
沢山の雪は思い出をより鮮明に」

フォトコンテスト優秀賞



ニックネーム・アマトリチャーナ
「時計台は中に入れるのを
知らなかったな〜☆」

フォトコンテスト札幌時計台賞



みんな
「夕暮れの素敵な時計台
この後素晴らしいライブがありました」



ライブ：四重奏



氷像（時計台）



雪だるま
時計台職員の方の手造りです。撮影スポットとして大人気です。



時計台ルミネリエ



令和3年度の主な活動

- 4月15日 第1回理事会
 - 4月26日 売店運営体制の変更
 - 5月14日 通常総会(書面表決)
 - 6月8日 児童用小冊子「さっぽろ時計台なぞ!ふしぎ!探検」の市内小学校宛送付(市友会との共催事業)
 - 7月9日 時計台まつり実行委員会(書面)
 - 8月10日~8月15日 第1回パネル展((市友会との共催事業) 時計台の鐘稼働140年記念、クラーク博士来札・札幌農学校開校145年記念)
 - 8月25日 道特別支援金申請(北海道)
 - 8月29日~9月3日 第2回 パネル展(市友会との共催事業) ホーレス・ケブロン元アメリカ農務省長官来日150年記念、明治天皇北海道巡幸140年記念
 - 15日 時計台創建143周年記念式典、記念演奏会
 - 12月10日 第2回理事会
 - 12月15日 ホームページリニューアルの完成
 - 1月7日 札幌市市民文化局長視察来所
 - 1月14日 北海道信用金庫ひまわり財団助成事業の助成先に選定され助成金を拝受(於時計台)
 - 1月31日~2月7日 時計台来館促進観光事業「感動・再発見!札幌時計台おもてなしフェア」開催
 - 3月25日 会報「時計台の鐘」85号発行
- 注 時計台休館 5月4日~7月11日、7月26日~9月30日
売店営業日 7月12日~22日、10月1日~現在

有島武郎旧邸 — 時計台寸描 ⑭

木原直彦

札幌芸術の森(南区)の有島武郎旧邸について書くが、有島の記念館または文学館と言ってもいい。彼は「我が真生命の生れし故郷ハ実ニ札幌なりき」と書き残しているが、室蘭出身の作家八木義徳は(北海道文学の父)と呼ぶ。明治29年18歳のとき札幌農学校に転入学して新渡戸稲造教授官舎から隣接する学舎(時計台一円)に通ったが、明治41年からは母校・東北帝国大学農科大学の教師となる。住居のほうは転々としたのち、大正2年に本人の意向を取り入れた洋風二階建ての広大な住宅を北12条西3丁目に建てた。新聞でも話題になったが、妻子が病に倒れたため次の年に札幌を去る。その後この建物はさまざまに利用され、昭和34年に北海道大学に寄贈して、大学村(北28条3)に移築した。独身男子職員寮や大学院生寮として使用していたのだが、ところが北大は昭和58年に廃寮を決定する。いや、壊すと言うのだ。旧寮生たちの存続請願は実らず、北海道文学館(札幌市資料館内)が引き取った。旧有島武郎邸を保存する会を結成し、有志の主婦たちは街頭アピールまで行い、またマスコミも大き

く報じた。それらの資料は旧邸に展示されているが、紆余曲折の末、当時の板垣武四市長の英断で札幌市が引き受け、折から芸術の森を造成中だったのが幸いして正門を入ったすぐの白樺などに囲まれた場所に移設することが決った。昭和61年7月、開館式には生家の再生を見届けるため三男行三さんも出席されて盛大であった。この家に縁を持つ鳥山櫻子さんの歌集の中に、次の一首がある。

アメリカの十九世紀末端正なペン字が乾く
有島記念館
付記しよう。北海道開拓の村には長男で俳優の森雅之さんが生まれ木田金次郎画伯も尋ねてきた上白石の旧有島家住宅と、舎監を務めていたとき武者小路実篤が来て泊った恵廼寮の正面も移設復元されていて大切な財産である。更にエピソードを一つ。芸術の森に移築する前の旧邸が黒沢明監督「白痴」のロケに使われているが、主演した森雅之の感慨はいかばかりであったか。

(当会名誉会長)

令和4年度 記念演奏会予定

- 6月24日(金) ピアノ三重奏 辻千絵他
 - 7月29日(金) 琴アンサンブル「セシリア」
 - 8月26日(金) ハーモニカ合奏
札幌ハーモニカ倶楽部
 - 9月30日(金) 吹奏楽 アンサンブル
陸上自衛隊 北部方面隊
 - 10月16日(日) バリトンとピアノによるコンサート
ひろくる
- 申込方法等はさっぽろ時計台の会ホームページ等により別途ご案内いたします。

事務局だより

長年の懸案であったホームページをリニューアルしました。今後、一層の内容の充実、活用を図ってまいります。

9月23日、市民の寄贈により敷地内に楽曲「時計台の鐘」の歌碑が設置されました。来館の折はご覧ください。

おもてなしフェア、ライブ四重奏の最終日、最終曲の終盤に二人ずれの女性客が席に着き、間もなく終了となりました。演奏者から「観光のお客さまですか」と声かけがあり、一曲プレゼントしていただきました。会場の拍手喝采を目の当たりにし感動、「おもてなし」を実感した出来事でした。

児童の皆さんや市民の皆さまが楽しみにしております児童絵画展、記念演奏会(4回)、呈茶がコロナ禍により中止となりました。一日も早く終息することを願っております。

さっぽろ時計台の会 HPアドレスです。
<http://sapporo-toketaidai.sakura.ne.jp>